

令和7年度キッコーマン健保組合予算が決定！ 一般保険料率(9.2%)介護保険料率(1.9%)ともに改定なし！

キッコーマン健保組合会(2月17日開催)の決議内容について

2月17日に開催された健保組合会で、令和7年度の保険料率、事業計画、予算が決議されました。

1. 令和7年度健康保険料の料率

- (1)健康保険料率(一般保険料率および調整保険料)
現行通りとする
料率9.2%(事業主負担5.9%+被保険者負担3.3%)
- (2)介護保険料率 現行通りとする
料率1.9%(事業主負担0.95%+被保険者負担0.95%)

2. 令和7年度事業計画

キッコーマン健康保険組合の加入者の医療費は、年々増えています。ただし、他健保に比べると、その上昇幅は小さく、1人あたりの医療費も比較的少ない状況です。一方、加入者の健康課題は、生活習慣病のリスク保有者が多いことや、健診で要治療と判定される人の割合も増加していることです。つまり、将来の重症化リスクの高まりが、大きな課題となっています。このような現状課題や、「第3期データヘルス計画」を踏まえ、令和7年度の保健事業計画は、以下の3つに重点的に取り組む方針です。

- 1) 生活習慣病予防・改善対策により、生活習慣病のリスク保有者を減らす
- 2) 人間ドック補助制度の利用を促し、疾病の早期発見・早期治療を目指す(40歳以上のがん検診受診率向上と「健診予約システム」の定着を促進)
- 3) 「前期高齢者(65歳～74歳)の健康増進」(前期高齢者納付金対策)

参考: <「第3期データヘルス計画」>2024～2029目標

健診促進と生活習慣病対策に焦点をあて、以下を目標と定めている

- 40歳以上加入者の人間ドック受診率70%以上
- 特定保健指導の該当者割合16%以下

加えて、健保組合のデジタル活用の推進により、組織運営体制の強化を図る方針です。政府の進める医療DXへの対応だけでなく、加入者との新たな通信手段を模索するなどデジタル活用で個人情報保護徹底と業務効率化に注力していく方針です。

3. 令和7年度予算

- (1)一般勘定(健康保険) 収入・支出予算額 2,786,361千円
- ①当期収入 2,216,069千円(R6予算比103%、R6見込比100%)
(健康保険料収入2,168,128千円 など)
 - ②当期支出 2,012,293千円(R6予算比102%、R6見込比103%)
(保険給付費981,759千円、納付金839,460千円、保健事業費111,043千円、事務所費46,971千円 など)
 - ③当期収支 203,776千円
- (2)介護勘定(介護保険) 収入・支出予算額 360,410千円
- ①当期収入 299,159千円(介護保険料収入299,154千円など)
 - ②当期支出 259,787千円(介護納付金259,786千円など)
 - ③当期収支 39,372千円

以上